歴史の視座（考古学とはどんな学問か）　第１回　高瀬克範（文学部・考古学研究室）

教員プロフィール・連絡先

【略歴】札幌生，札南高卒，北大文（日本史）卒（1996），同院修了（博士（文学））（2001），岩手県埋蔵文化財センター調査員（2001～），都立大教員（2002～），明大教員（2007～），2011 年から北大教員。

【研究内容】縄文・弥生・続縄文文化の考古学，高緯度地帯（ユーラシア北極圏，オホーツク海沿岸，アラスカなど）の考古学，植物利用，石器の利用法

【おもな研究手法】石器使用痕分析法（lithic use-wear analysis），フローテーション法（water-flotation technique），レプリカ法（replication method）など。

【連絡先】〒060-0810　札幌市北 10 条西 7 丁目　北海道大学大学院文学研究科
Email: takase@let.hokudai.ac.jp

【オフィスアワー】木・5 限　文学研究科 5 階 503 号室（来訪時は事前にメールで連絡）

【考古学研究室の教員】

小杉　康：　縄文文化，物質文化論，アイヌの物質文化

江田真毅：　動物考古学（特に鳥類），DNA 分析，ZooMS

高倉　純：　旧石器時代（日本，シベリア北極圏），石器製作技術，剥離速度分析

授業の目標

考古学は，文字記録ではなく，物質資料にもとづいて実践される歴史学である。本授業では，北海道史・日本史研究のなかで考古学が果たしている役割について，具体的な研究事例をたどりながら概観する。これにより，多角的な視点・方法論による歴史理解の必要性を理解する。

到達目標

1) 歴史研究において物資資料がどのように貢献しえるかを，具体的な事例をあげて説明できる。

2）物質資料にもとづく歴史研究の有効性と限界を説明できる。

3）北海道の代表的な 5 遺跡以上について，遺跡の概略と歴史的意義を簡潔に説明できる。

スケジュール（あくまでも現時点での予定にすぎないため実際には掲示で確認すること）

9/27　①導入

10/4　②考古学の定義

10/11　休講（トロント大学との共同授業（サテライトスクール）のため）

10/18　③札幌の遺跡

10/25　④北大の遺跡（北大埋蔵文化財センター，総合博物館見学）

11/1　⑤北大の考古学研究と日本の遺跡保護システム

11/8　休講（ロシア・アメリカ出張のため）

11/15　休講（ロシア・アメリカ出張のため）

11/22　⑥考古学研究の実際

11/29　⑦縄文文化

12/6　⑧弥生文化

12/13　⑨続縄文文化

12/20　⑩擦文文化

12/27　冬休み

1/3　冬休み

1/10　⑪オホーツク文化

1/17　⑫中近世

1/24　⑬アイヌ文化　＋　補講　⑭まとめ

1/31　初習外国語統一試験のため授業なし

準備学習（予習・復習）

予習として毎回の授業で提示されるテーマ・用語についてあらかじめ調べて，次回授業時に提出する。復習として，当日の授業内容を要約し，予習と同じ紙の反対の面に記入する（予習・復習の用紙は出欠票の役割も兼ねる）。

成績評価

期末レポート（50%），平常点（おもに出席および予習内容）（50%）を総合して評価する。出欠確認システムは成績評価には使用しない。

教科書

特定の教科書は使用しない。

講義指定図書

アイヌ文化成立史 / 宇田川洋 ： 北海道出版企画センター, 1988, ISBN:4832888128

増補アイヌ考古学 / 宇田川洋 ： 北海道出版企画センター, 2000, ISBN:4832800027

北海道の考古学 / 宇田川洋 ： 北海道出版企画センター, 1995, ISBN:4832800027

北の異界－古代オホーツクと氷民文化－ / 西秋良宏・宇田川洋ほか ： 東京大学出版会，2002, ISBN:4130202138

新版北海道の歴史　上 / 長沼　孝ほか ： 北海道新聞社, 2011, ISBN:9784894536265

オホーツクの古代史 / 菊池俊彦 ： 平凡社, 2009, ISBN:9784582854916

※資料は北方文化論講座のホームページにアップされるため，欠席などで入手できなかった場合は各自でダウンロードできる（後日の個別配付には対応しない）。

http://hoppo-let-hokudai.com/

＊＊＊

１．「物質文化」からみた歴史学＝考古学

文字記録ではなく，モノから復元する人類の過去

人間がいれば，どこでも，いつでも

２．考古学の可能性と限界

・文字記録がのこる背景を考えてみよう（誰の活動でも記録されるか，本当のことだけが記録されるか，どんな地域のことでも記録されるか，権力者のすべての行為が記録されるか？）

・文字記録にのこらない歴史は“古い時代”だけじゃない

・「精度」の限界，「不可視なもの」への到達の不得手

・明確に輪郭がひけず，とらえどころのない学問？

→モノ（物質）を扱うので，理系との連携が不可欠で，その範囲も拡大しやすい

ｅｘ．年代測定，花粉分析，材料科学，同位体分析，人骨の含有物，堆積学的分析…

３．文献史学と考古学の境界領域・・・稲荷山古墳出土鉄剣の例

(1) 稲荷山古墳の発掘（1968）

(2) 1987 年　金錯銘 115 文字の発見

→この鉄剣は，考古資料か文献史料か・・・双方の性格を併せ持つ

文献史学（日本古代史）からのアプローチ	考古学からのアプローチ
鉄剣を発見できない	鉄剣を発見できる
文字に書かれている内容を検討する	剣・文字の形や材質，剣の出土状況，副葬品全体の組合せ，埋葬施設の作り方，出土した古墳の特徴などを検討（古代の資料はまだふえる！）
「獲加多支鹵大王」は誰？…雄略天皇（＝「武」『宋書』倭国伝），古事記「大泊瀬幼武」日本書紀「大長谷若建」（諡：オオハツセワカタケル）	直接アプローチできないが，天皇陵の研究から間接的にアプローチできる可能性
「乎獲居」は誰？…畿内もしくは北武蔵の豪族	直接アプローチできないが，各地域の考古資料の研究から間接的にアプローチ可能
「辛亥年」とはいつ？…471 年，531 年	471 年…須恵器の年代と符合，古墳の年代（5 世紀末降灰の FA に覆われる）
鉄剣の所有者の性格はアプローチできない	副葬品の組合せ，墳丘の規模などから地域社会全体の中の位置づけを考察可能
5～6 世紀の北関東地域社会は，ほとんど復元できな	食料生産性，人口，手工業生産，階層性，他地域と

い	の関係などからアプローチできる
文字以外に検討可能性に広がりがない	成分分析，年代測定，DNA 分析など将来的にさまざまな分析が可能（実物資料の保存の重要性）

文献

高橋一夫 2005『鉄剣銘一一五文字の謎に迫る　埼玉古墳群』新泉社

予習テーマ

歴史復元のための素材としての文字記録の弱点をできるだけ多く列挙せよ。

〔表〕辛亥年七月中記乎獲居臣上祖名意富比垝其児多加利足尼其児名弓已加利獲居其児名多加披次獲居其児名多沙鬼獲居其児名半弓比（五七字）

〔裏〕其児名加差披余其児名乎獲居臣世々為杖刀人首奉事来至今獲加多支鹵大王寺在斯鬼宮時吾左治天下令作此百練利刀記吾奉事根原也（五八字）

訓読

辛亥の年の七月中、記す。ヲワケの臣。上祖、名はオホヒコ。其の児、（名は）タカリのスクネ。其の児、名はテヨカリワケ。其の児、名はタカヒ（ハ）シワケ。其の児、名はタサキワケ。其の児、名はハテヒ。

其の児、名はカサヒ（ハ）ヨ。其の児、名はヲワケの臣。世々、杖刀人（じょうとうじん）の首と為り、奉事し来り今に至る。ワカタケル大王（だいおう）の寺、シキの宮に在る時、吾、天下を佐治し、此の百練の利刀を作らしめ、吾が奉事の根原を記す也。

図１　稲荷山古墳出土鉄剣と銘文（高橋 2005）